

A vertical decorative element on the left side of the slide, consisting of a grid of small squares in various colors (orange, green, blue) scattered across a light gray background.

2017年12月期 決算説明会

2018年2月21日

株式会社C&Gシステムズ

東証二部:6633



目次

1. 会社概要	… 3
2. 2017年12月期決算概要	…12
3. 中長期事業方針の進捗状況	…19
4. 2018年12月期通期業績見通し	…25
5. 株主還元について	…31

1. 会社概要

会社概要

■ 会社概要

商号	株式会社C&Gシステムズ(6633)
事業内容	金型向けCAD/CAMシステムの 開発・販売・サポート
所在地	(東京本社) 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー19F (北九州本社) 福岡県北九州市 八幡西区引野1-5-15
設立年月日	2007年7月2日
資本金	5億円
直近連結業績 (2017年度 実績)	売上高：40億83百万円 営業利益：3億28百万円
事業所	国内7拠点 (東京2ヶ所/北九州/名古屋/大阪/太田/松本) 海外1拠点(インドネシア) 海外事業子会社3社 (タイ/カナダ/米国 [金型製造]) 海外総代理店(韓国/中国/台湾)
連結社員数	241名

■ 国内外ネットワーク

【東アジア】
(各国代理店)

韓国: IGPNET社
GCE社
中国: Shanghai C.J
System
Technology社
台湾: Createwell社

【アセアン】

タイ: CGS ASIA(子会社)
インドネシア
テクニカルセンター



CGS ASIA



インドネシアテクニカルセンター

国内

東京支店
松本営業所
北関東支店
太田営業所
名古屋支店
大阪支店
九州支店
海外営業本部

【北米】

カナダ:
CGS CANADA
(子会社)

【金型製造事業】

アメリカ:
Tritech
International, LLC



東京本社



北九州本社



沿革

	旧コンピュータエンジニアリング(CE)社	旧グラフィックプロダクツ(GP)社
1978年	CE社の前身である株式会社西部周防設立(1983年「コンピュータエンジニアリング株式会社」に商号変更)	
1981年		GP社設立
1997年		GP社株式店頭(現・東証JASDAQ市場)上場
2007年	CE社およびGP社による共同持株会社 アルファホールディングス株式会社(α HD:当社)設立	
2010年	CE社およびGP社を α HDに吸収合併、 同時に新商号を「株式会社C&Gシステムズ」として事業会社に移行	
2017年	東証JASDAQ市場から東証二部に市場変更	

社是、経営理念および成長戦略テーマ

- 社是 「生産性の限界に挑戦する」
- 経営理念 「技術立国日本を代表する
CAD/CAM ソリューションメーカーとして、
世界のモノづくりに貢献する。」
- 成長戦略テーマ 「Global Niche Top」

「金型用CAD/CAM」というニッチな市場において、
グローバルにトップ企業になることを目指す



回復を見せる「国内市場」におけるトップ企業

||

金型向けCAD/CAM市場におけるトップ企業

主要製品および導入実績

■ 製品のポジショニングマップ



■ 累計導入実績および主要ユーザ…国内外合計7,000事業所

国内:6,000事業所

トヨタ自動車 アイシン精機 豊田紡織 立松モールド デンソー ヤマハ発動機
 三光合成 三菱重工 マツダ 深江製作所 三井ハイテック 高城精機 エスバンス
 パナソニック オムロン シマノ がまかつ CHOFU 大阪造幣局 リョービ 昭和精機
 岐阜精機 ミネベア 小糸製作所 スタンレー電気 ホンダエンジニアリング
 アルプス電気 ニフコ TOTO ニコン キヤノン オリンパス パロマ ローム

海外:1,000事業所

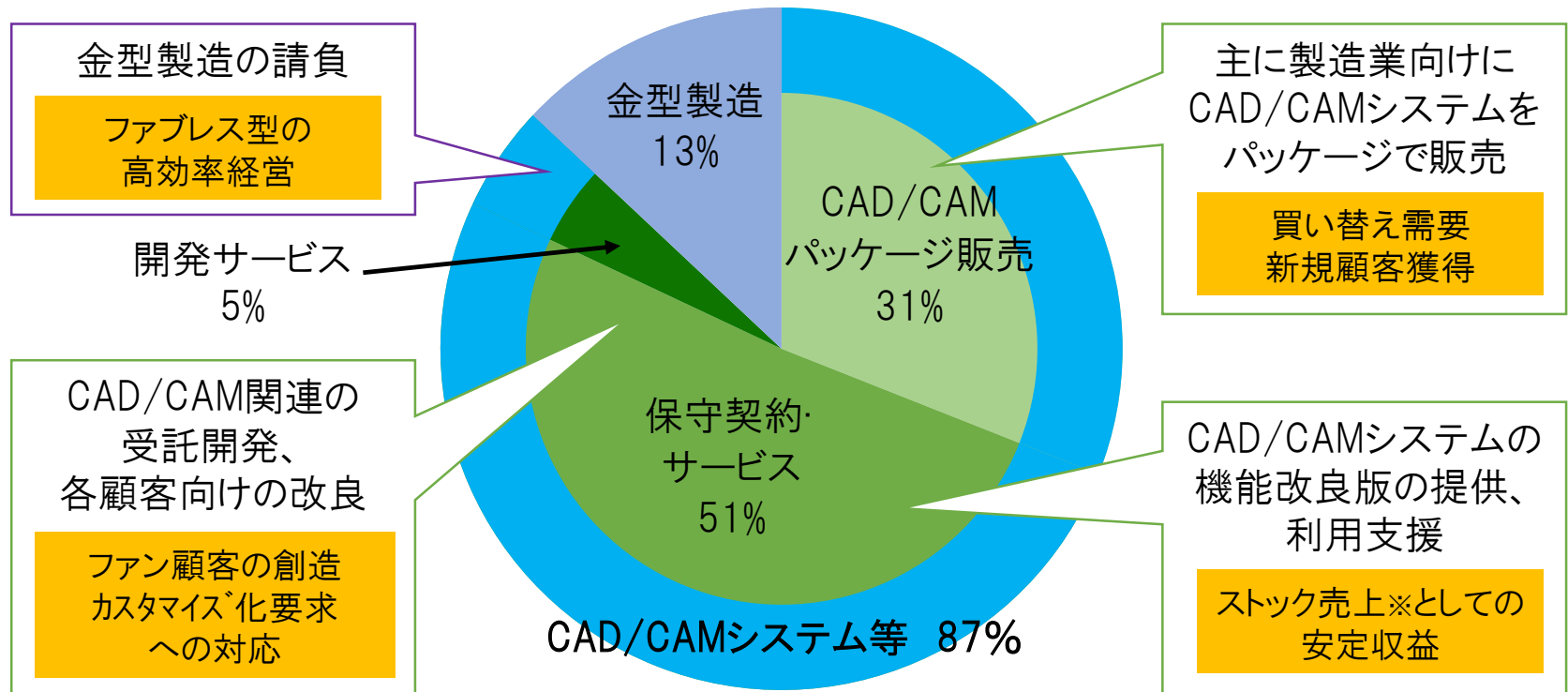
LG電子 サムソン電子 現代自動車
 DOOSAN機械 FOXCONN
 teleflex Medical 友達光電 AMTEK

…その他多数

事業セグメント

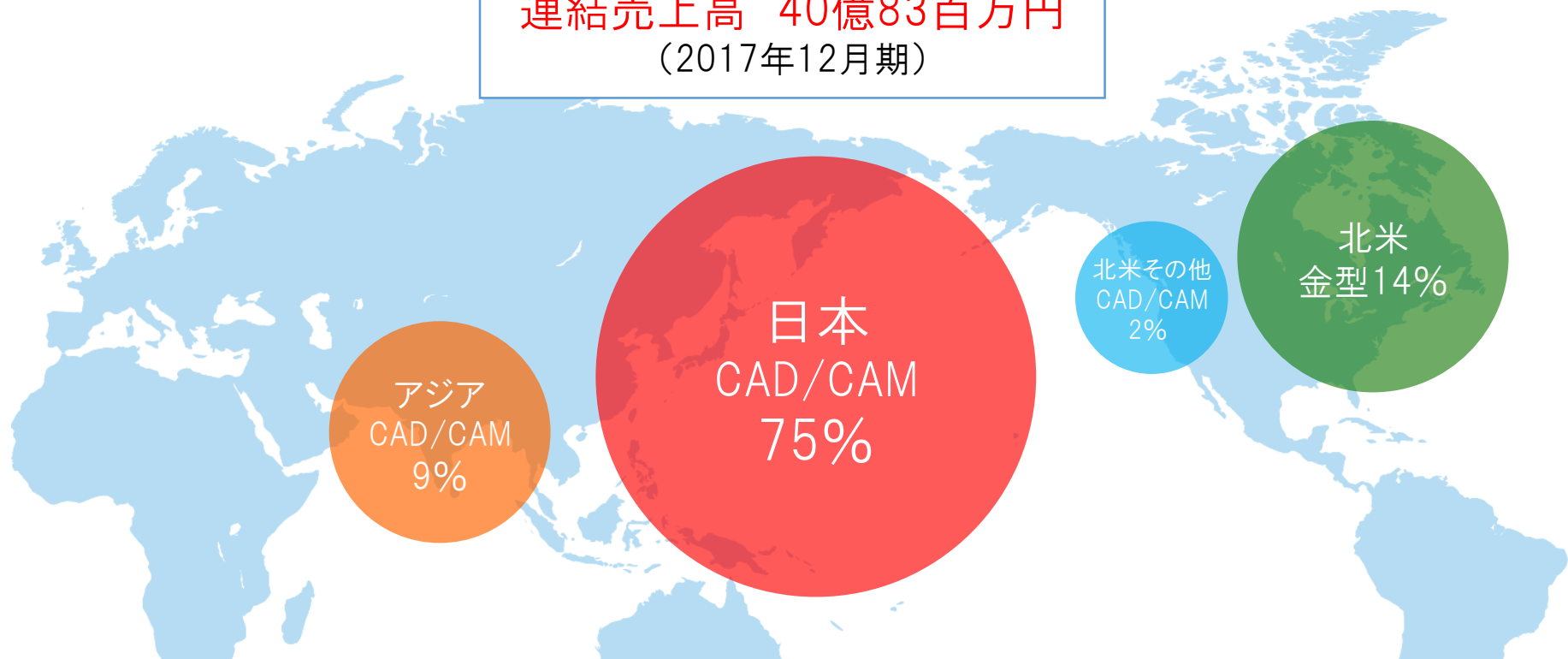
主力事業：金型用CAD/CAMシステムの開発・販売・サポート

【2017年度連結売上高：40億83百万円】



地域別(仕向地別)売上高

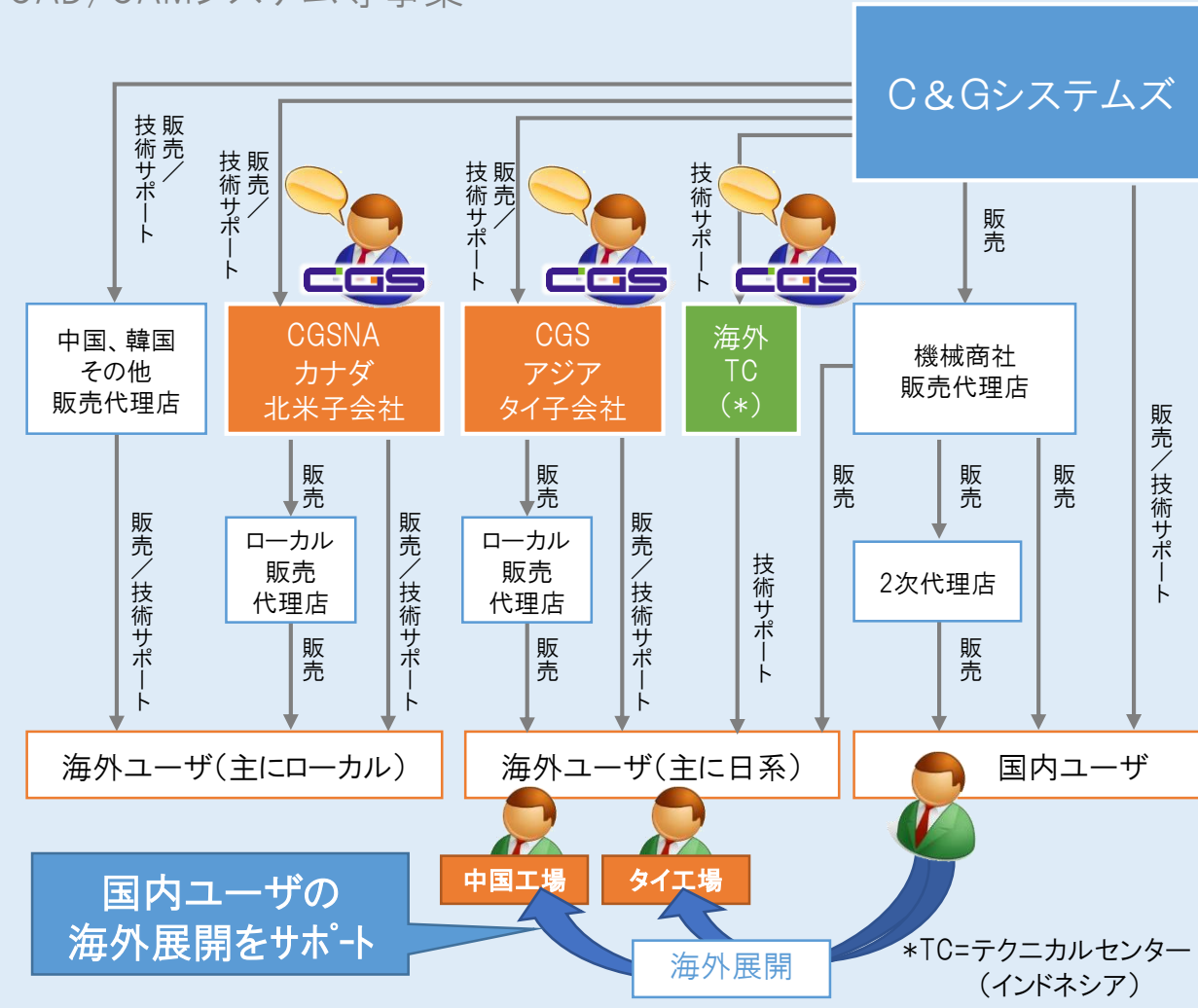
連結売上高 40億83百万円
(2017年12月期)



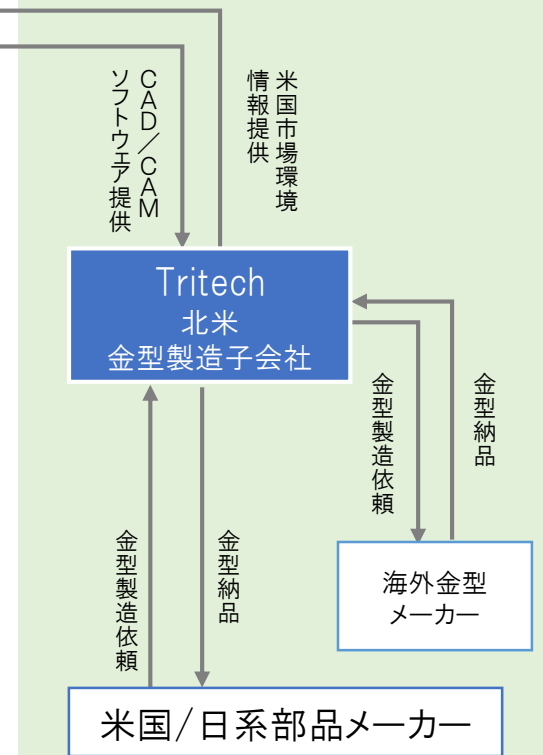
- 海外販売割合(仕向地別)は25%
- CAD/CAMシステム販売については海外進出した日系企業への直接販売が中心
⇒ 今後は海外ローカル企業への間接販売を強化

事業系統図

CAD/CAMシステム等事業

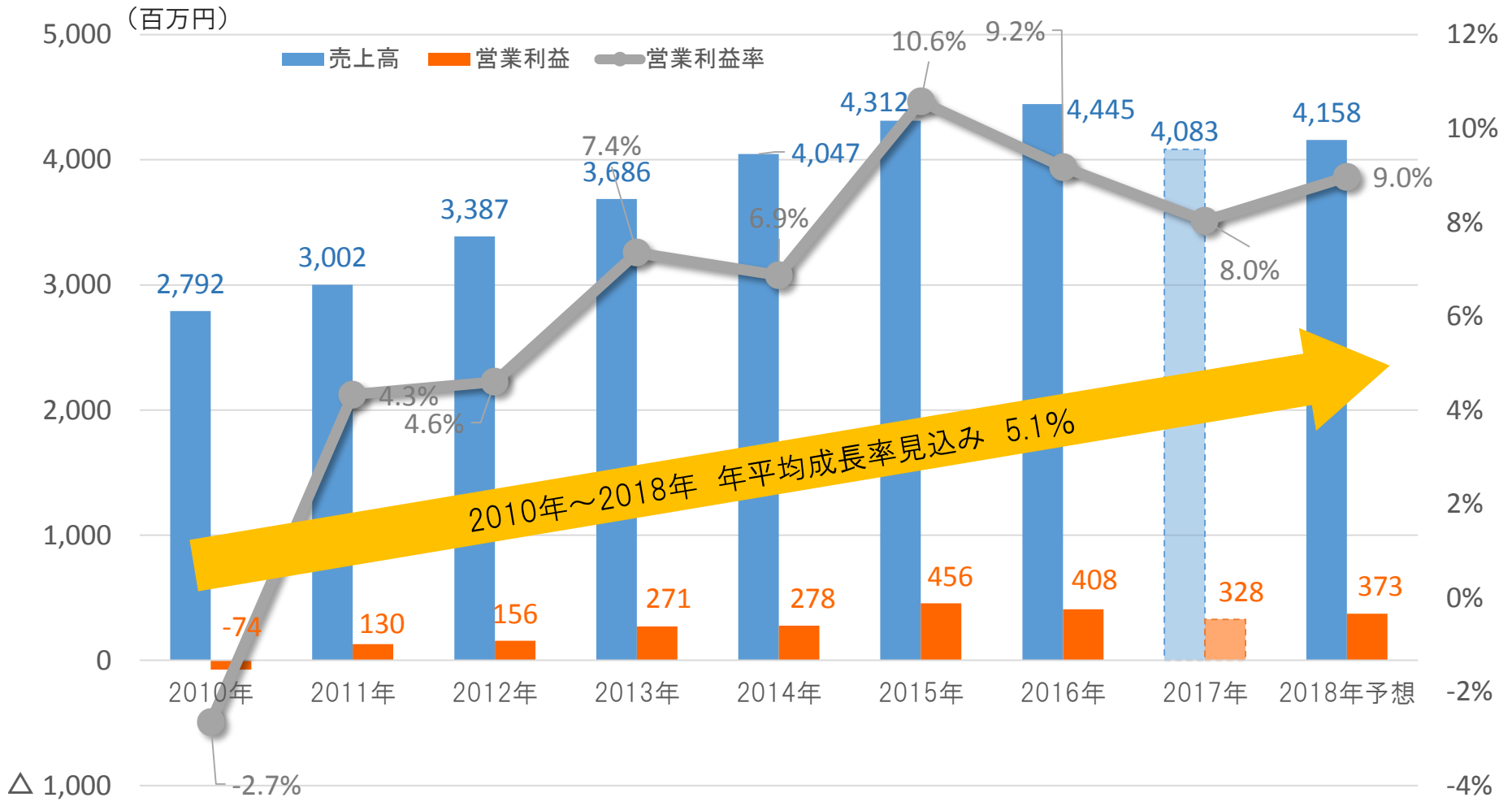


金型製造事業





連結業績の推移





2. 2017年12月期 決算概要

2017年度 決算ハイライト

■ 前期比で減収減益

- 売上高 40億83百万円（前期比 8.1%減）
- 営業利益 3億28百万円（前期比 19.4%減）

■ CAD/CAMシステム等事業

• 国内

- ✓ 保守サポート売上が好調に推移した国内は増収となり堅調に推移、安定した経営基盤を維持
- ✓ 開発外注費の増加および人員増に伴う人件費の増加等により利益は前期比で若干の減少

• 海外

- ✓ インドネシア・ベトナム等は販売体制強化により堅調な推移、タイは回復の遅れ、韓国は底打ちしたものの地政学リスク大で想定より低調に推移
- ✓ 中国は代理店への移行により拠点管理コスト改善

■ 金型製造事業

- 非常に好調な推移を見せた2016年度との比較では大幅な減収減益。
- 原油安により日系自動車メーカーが得意とするエコカーではなく米系大型ガソリン車の生産が伸長、主な納入先である日系自動車部品メーカーが苦戦したことも影響

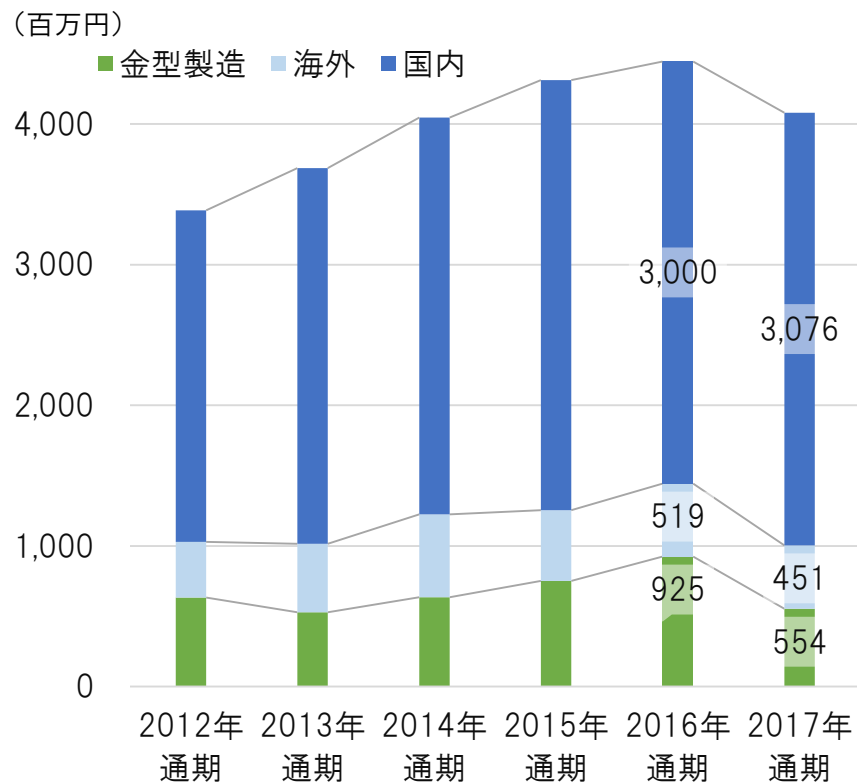
業績概要

(単位:百万円)

	2017年 実績	構成比	2017年 計画	計画比	
				増減額	増減率
売上高	4,083	100.0%	4,217	△134	△3.2%
営業利益	328	8.1%	385	△57	△14.8%
経常利益	373	9.2%	419	△46	△11.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	503	12.3%	437	+65	+15.0%
			2016年 実績	前年同期比	
				増減額	増減率
			4,445	△362	△8.1%
			408	△79	△19.4%
			438	△65	△14.8%
			242	+260	+107.4%

		2016年 期末	2017年 期末	前期末との 差異割合(%)
為替 レート	ドル	116.49円	113.0円	97.0%
	パーツ	3.24円	3.45円	106.5%
	カナダドル	86.46円	89.95円	104.0%

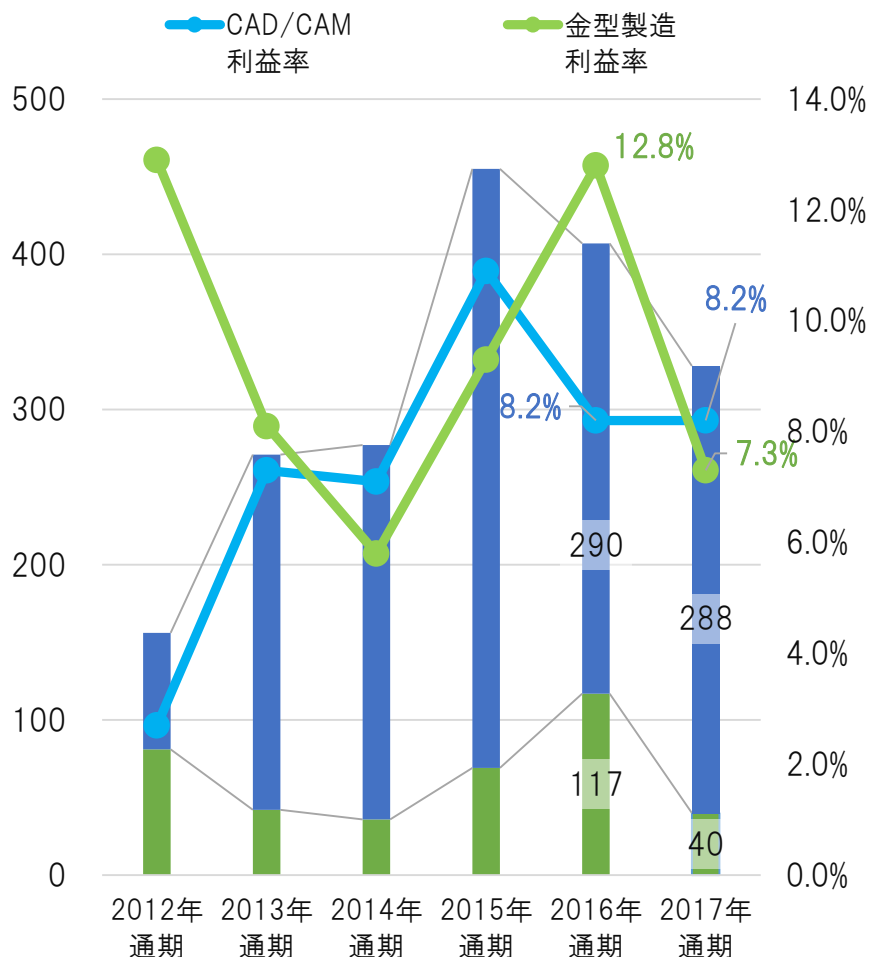
事業セグメント別売上高の推移(仕向地別)



売上高 (百万円)	2016年 通期	2017年 通期	構成比	前年同期比	
				増減額	増減率
CAD/CAM	3,520	3,528	86.4%	+8	+0.2%
国内	3,000	3,076	75.3%	+75	+2.5%
海外	519	451	11.1%	△67	△13.0%
金型製造	925	554	13.6%	△370	△40.0%
合計	4,445	4,083	100.0%	△362	△8.1%

事業セグメント別利益の推移

(百万円) ■ CAD/CAMシステム等 ■ 金型製造

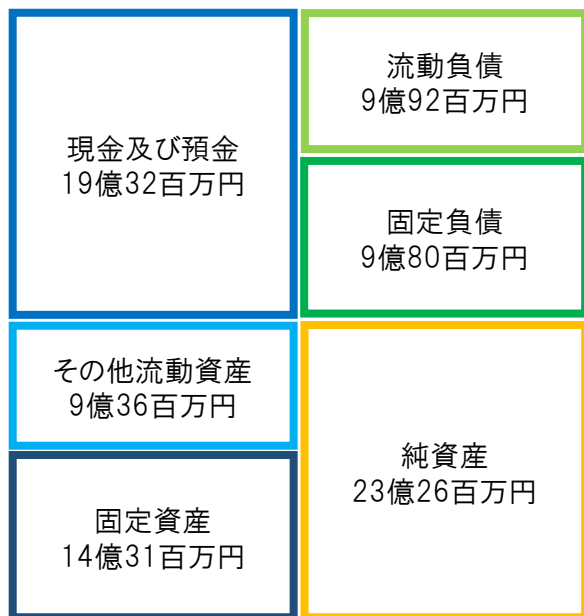


科目	2016年 通期 【実績】	2017年 通期 【実績】	前年同期比	
			増減額	増減率
CAD/CAM				
売上高	3,520	3,528	+8	+0.2%
営業利益	290	288	△1	△0.7%
営業利益率	8.2%	8.2%		
金型製造				
売上高	925	554	△370	△40.0%
営業利益	117	40	△77	△65.6%
営業利益率	12.8%	7.3%		
合計				
売上高	4,445	4,083	△362	△8.1%
営業利益	408	328	△79	△19.4%
営業利益率	9.2%	8.1%		

財務状況

■ 自己資本比率55.9%

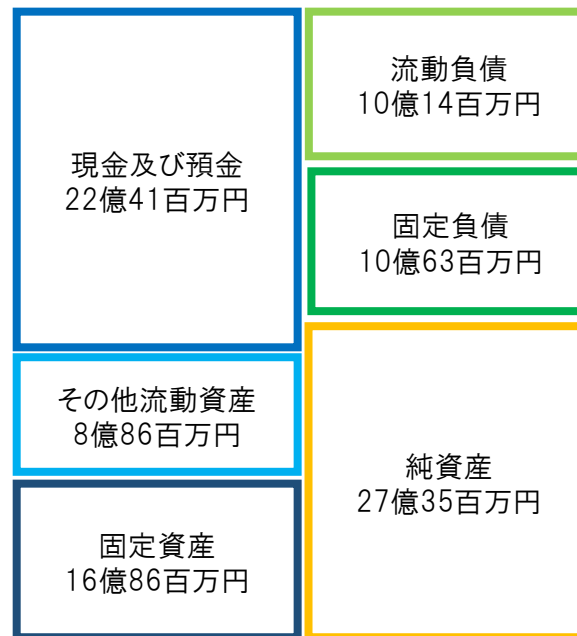
【2016年12月期 期末】



総資本合計 42億99百万円

自己資本比率 52.8%

【2017年12月期 期末】



総資本合計 48億14百万円

自己資本比率 55.9%

主な要因

資産項目：現金及び預金+3億9百万円、繰延税金資産+2億68百万円、
受取手形及び売掛金△76百万円

負債項目：前受金+51百万円、退職給付に係る負債+87百万円

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2016年 通期	2017年 通期	コメント
営業活動による キャッシュ・フロー	531	534	<ul style="list-style-type: none"> 税金等調整前当期純利益4億35百万円:各事業の利益貢献 その他の主な内訳:(増加)減価償却費1億23百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△57	△86	<ul style="list-style-type: none"> (減少)有形固定資産の取得36百万円、無形固定資産の取得47百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△126	△131	<ul style="list-style-type: none"> (減少)配当金の支払額1億30百万円
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△8	
現金及び現金同等物の増減額	331	308	
現金及び現金同等物の期首残高	1,496	1,828	
現金及び現金同等物の期末残高	1,828	2,136	
フリーキャッシュフロー	473	447	

※フリーキャッシュフロー＝営業活動CF＋投資活動CF

3. 中長期事業方針の進捗状況



中長期事業方針

基本戦略①

既存の基幹収益源
(国内CAD/CAMシステム事業)
の維持・拡張

- 保守事業の拡充
- OEM事業の推進

基本戦略②

成長する
海外CAD/CAM市場の取り込み

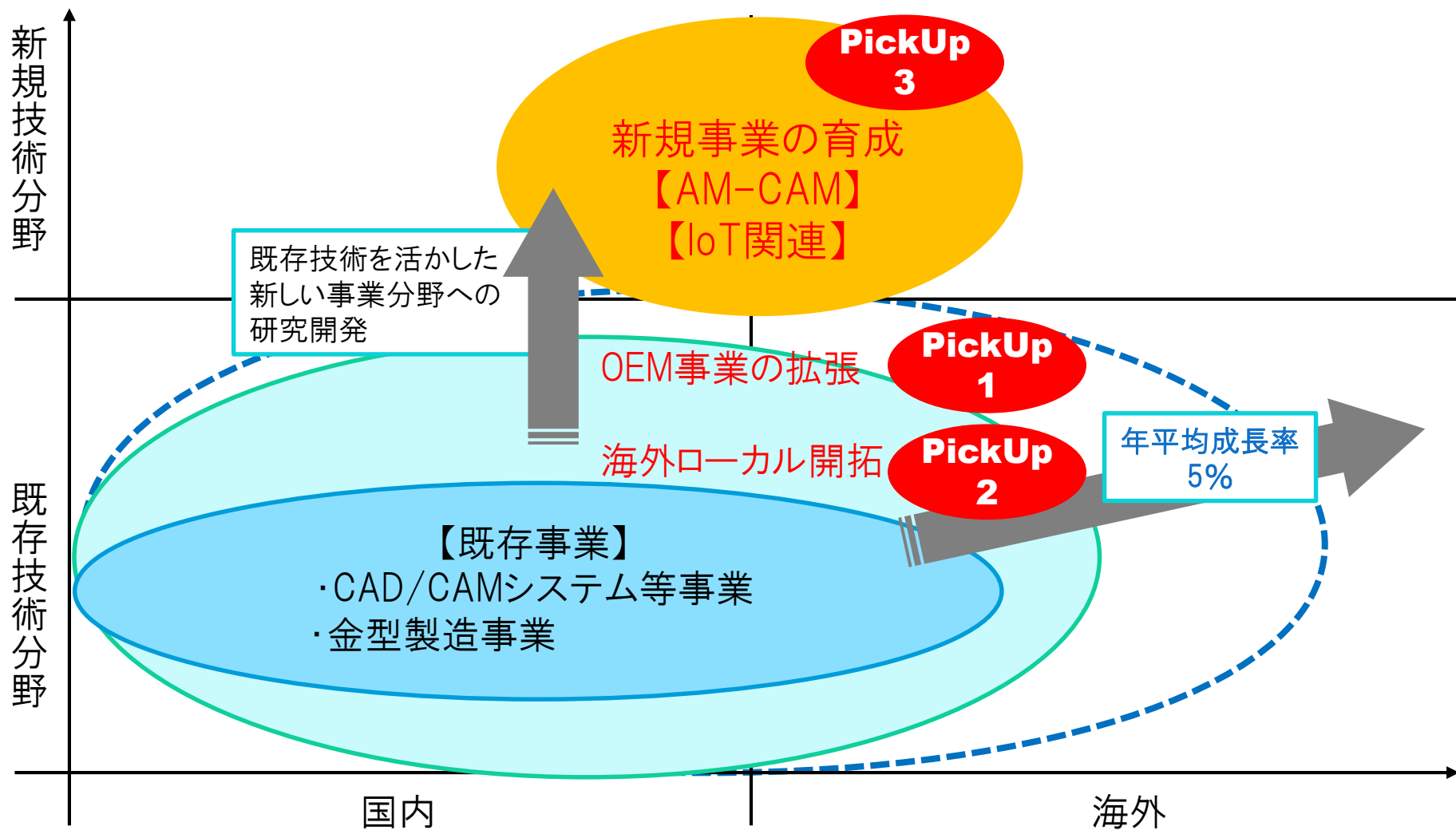
- テクニカルフランチャイズ拡大
- APIサテライト構想強化

基本戦略③

次世代収益源としての
新規事業の育成

- AM(Additive Manufacturing:積層造形)
- IoT関連

中長期の方向性



OEM事業について



試作市場向け

…試作加工機向け専用CAMの提供

金属加工市場向け

…工作機械メーカー、工具メーカー等への専用CAMの提供

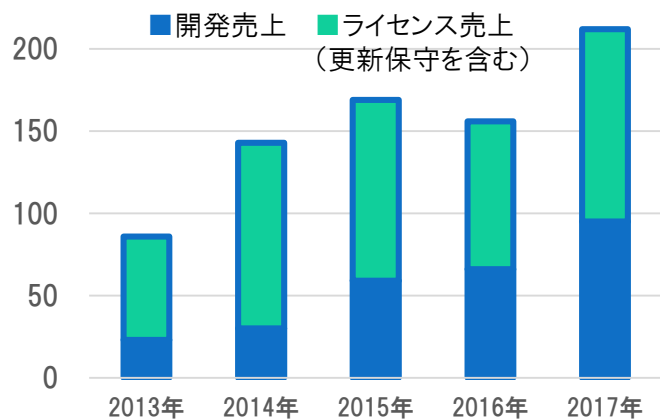
同業他社向け

…CAD/CAMシステムメーカー等への専用CAMの提供

研削盤市場向け

…研削盤メーカー等へ専用CAMの提供

■ OEM製品 売上の推移 (単位:百万円)

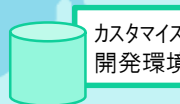


- 開発売上およびライセンス売上のいずれも伸長し前期比+35%。
- 開発売上は大口案件により売上増。ライセンス売上は研削盤市場向けで伸長。

海外CAD/CAM事業の状況

韓国

- 自動車関連市場はまだまだ低調ではあるものの底を打ち回復傾向。
- 自動化ニーズに応えた製品の提供を今春より開始予定。



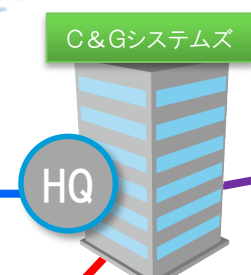
中国

- 代理店への販売ルート移行により拠点管理コスト減少、利益率向上。
- 機械需要が拡大するもCAD/CAMにまでは至らず、売上は低調。営業支援の強化に注力。



アセアン

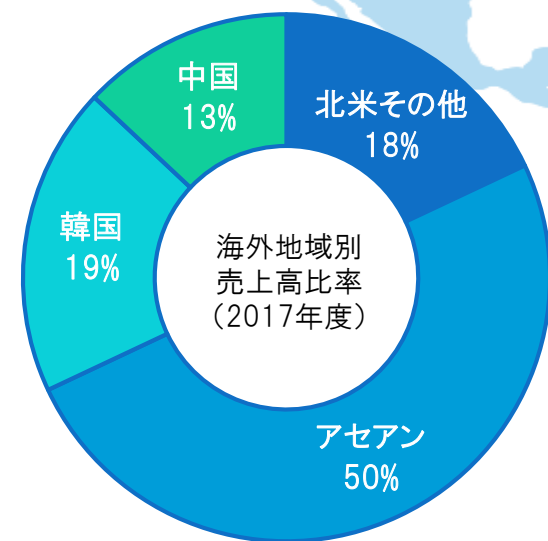
- タイ: 市場の回復に乗れるよう増員も視野に入れた販売体制の見直し。
- ベトナム: 最も期待度が高い市場。日系商社、ローカル代理店との販売強化を図る。



FC: 専門代理店
HQ: ヘッドクォーター

北米

- 生産財メーカーとの関係強化を継続
案件創出および成約率向上



地域完結型の販売体制の早期確立

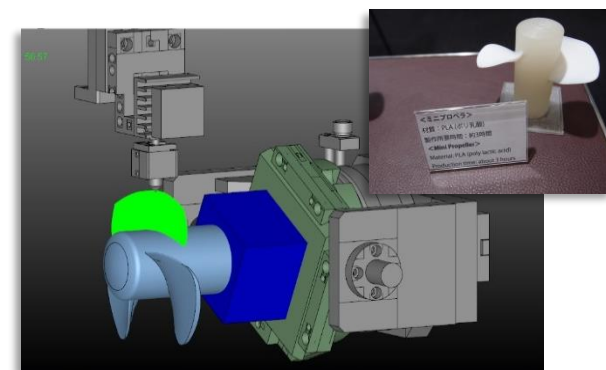
新規事業開拓

PickUp
3

新規事業の一例:

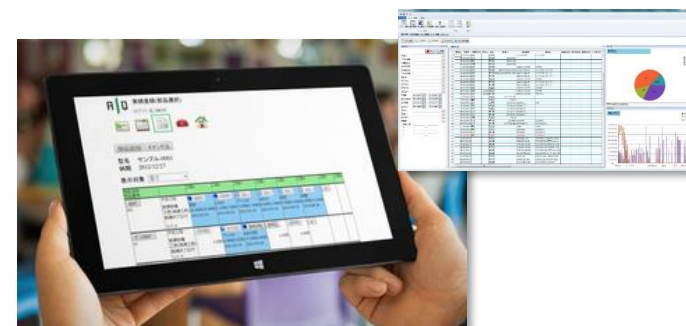
AM(Additive Manufacturing:積層造形)による3Dプリンタ関連事業の育成

- 積層造形に5軸切削加工技術を組合せた新技術「AM-CAM」を産官学連携で研究を推進
 - ・ 樹脂系金属造形AM-CAM
 - ・ 金属系積層造形AM-CAM



IoTと連携した金型工程管理システム「AIQ(アイク)」の拡充

- 製造現場のIoTを活用した工程管理の需要の高まりに対応した「金型工程管理システム」
 - ・ カスタマイズ開発を考慮した開発体制の確立
 - ・ 技術サポート体制の確立



4. 2018年12月期通期業績見通し

通期の見通し

- 国内:国内製造業の好調に連動して堅調に推移する見込み
- 海外:先進国、新興国問わず世界的な景気回復が持続

市場環境の変化(+)

(国内)

- 企業の業績回復を背景に設備投資は堅調に推移する見込み

(海外)

- 【米国】自動車業界は米系メーカーを中心に引き続き好調
- 【中国】成長率は緩やかな減速が予想されるものの安定成長が見込まれる
- 【アセアン】タイの回復、ベトナム製造業の活性化に期待

市場環境の変化(-)

(国内)

- 継続して世界経済の変動により影響する見込み(東アジアの地政学的リスク、米国政治動向等)

(海外)

- 【米国】東アジアの地政学リスクおよび利上げによる個人消費の冷え込み等
- 【韓国】中国での不買運動の継続による自動車販売への影響
- 【アセアン】インドネシアの日系設備投資の減少および経済の減速

2018年の取り組み

■ 国内CAD/CAMシステム事業

- 高い保守更新率の維持によるストック売上のさらなる向上
- オリジナル製品のさらなる機能強化に加え、リニューアル製品の開発を推進
- 生産財メーカーとの協力関係を維持・強化

■ 海外CAD/CAMシステム事業

- 【アセアン】タイ:販売体制見直し／インドネシア:ローカル拡大／ベトナム:販売強化
- 【東アジア】中国:代理店販売支援体制の強化／韓国:APIサテライト実績強化
- 【欧米】米国:子会社の新体制支援／欧州代理店の立ち上げ

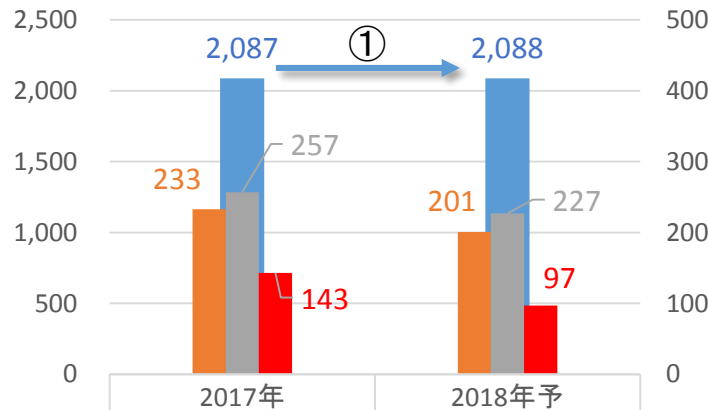
■ OEM事業/新規事業

- 国内外のOEM先の開拓・開発を継続(切削CAM系/研削CAM系/放電CAM系)
- 5軸FDM商品化および金属積層向けAM-CAMの確立に向け研究開発を継続
- 金型工程管理システムの機能強化、販売強化

2018年12月期 通期連結業績予想

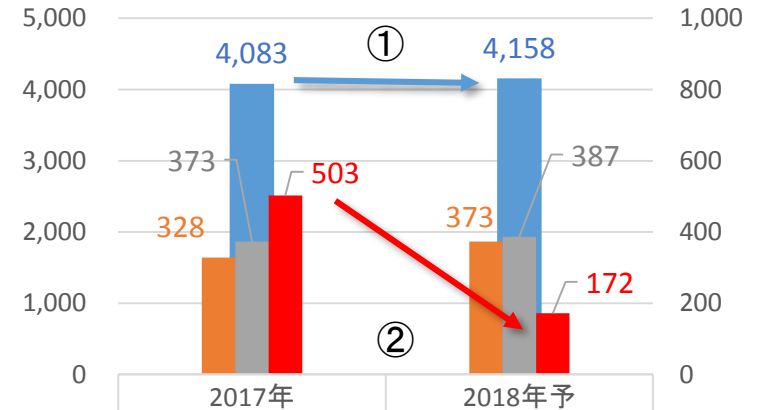
(単位:百万円)

第2四半期



■ 売上高	2,087	2,088
■ 営業利益	233	201
■ 経常利益	257	227
■ 当期純利益(※)	143	97

通期



■ 売上高	4,083	4,158
■ 営業利益	328	373
■ 経常利益	373	387
■ 当期純利益(※)	503	172

(※) = 親会社株主に帰属する当期純利益

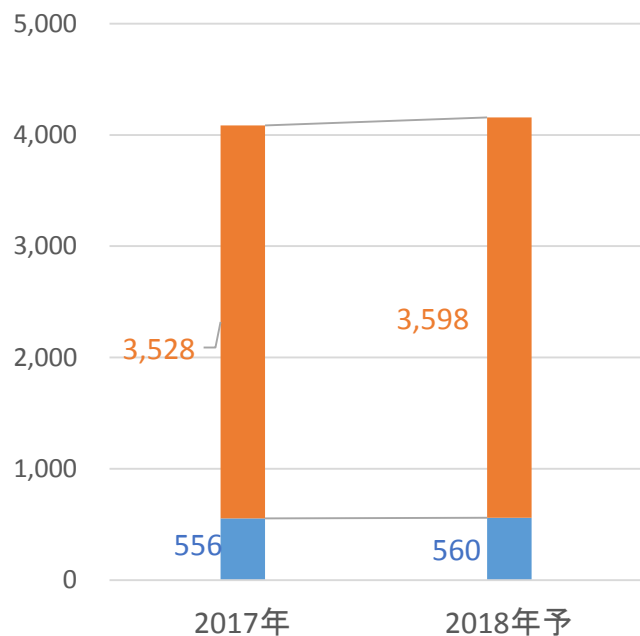
		2017年 期末	2018年度 連結業績予想 想定レート
為替 レート	ドル	113.00円	110.00円
	パーツ	3.45円	3.00円
	カナダドル	89.95円	85.00円

- ① CAD/CAMシステム等事業、金型製造事業ともに2017年度との比較で若干の増収を見込む
- ② 親会社株主に帰属する当期純利益: 繰延税金資産の回収可能性を見直した2017年度との比較では会計上75百万円の減益

2018年12月期 連結セグメント売上予想

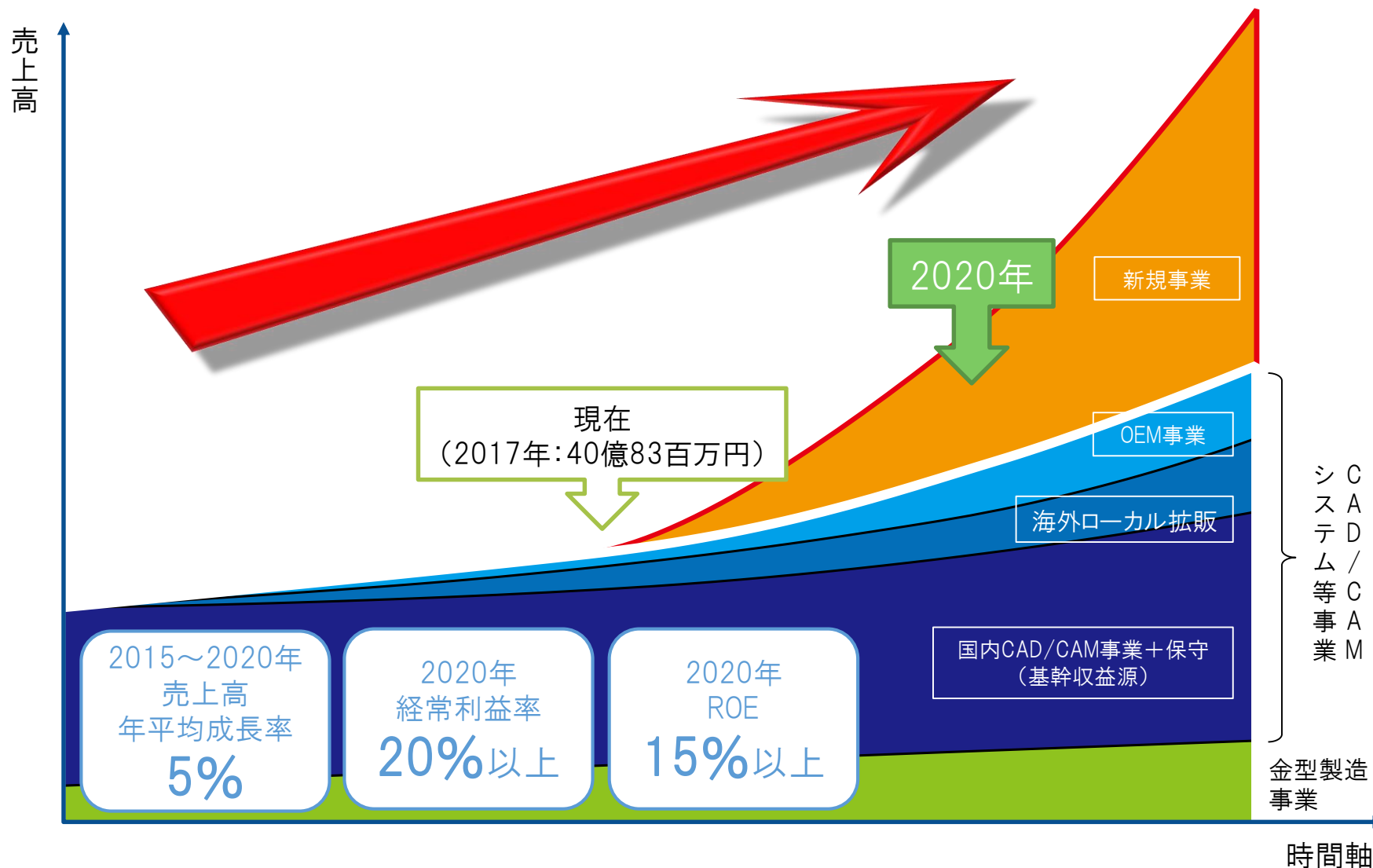
(単位:百万円)

通期



【通期】	17/12期 実績	18/12期 予想	構成比	増減額	増減率
CAD/CAM システム等	3,528	3,598	86.5%	+69	+2.0%
金型製造	556	560	13.5%	+5	+1.0%
合計	4,083	4,158	100%	+75	+1.9%

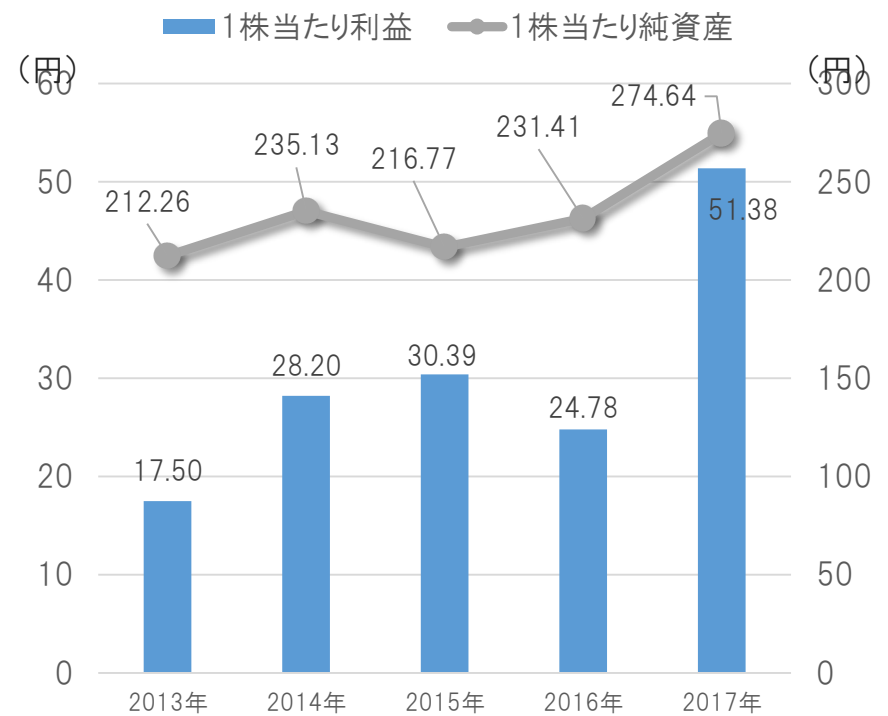
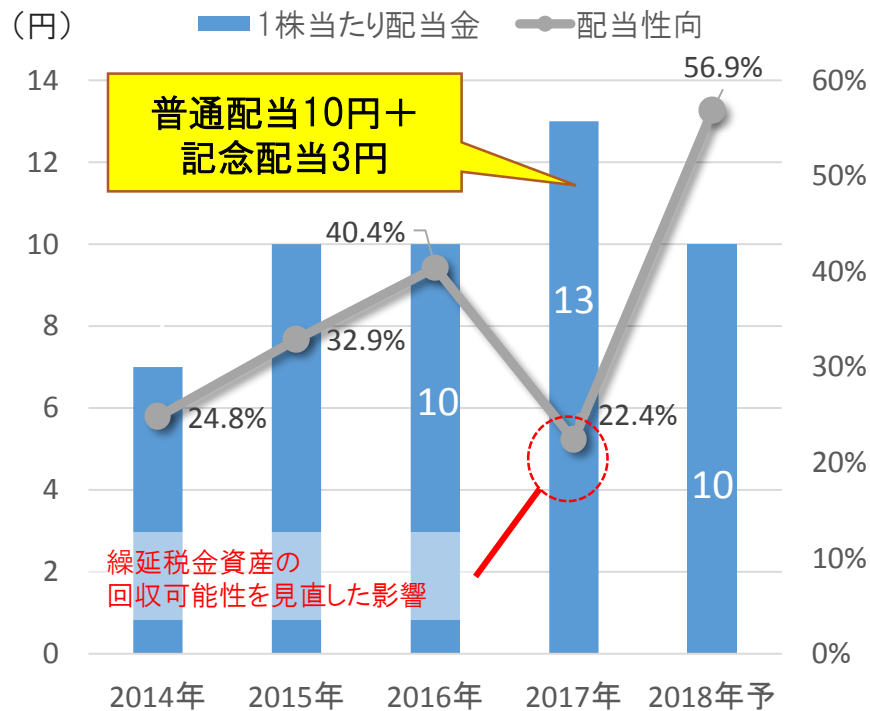
今後の成長イメージ (現有事業の拡張+新規事業)



5. 株主還元について

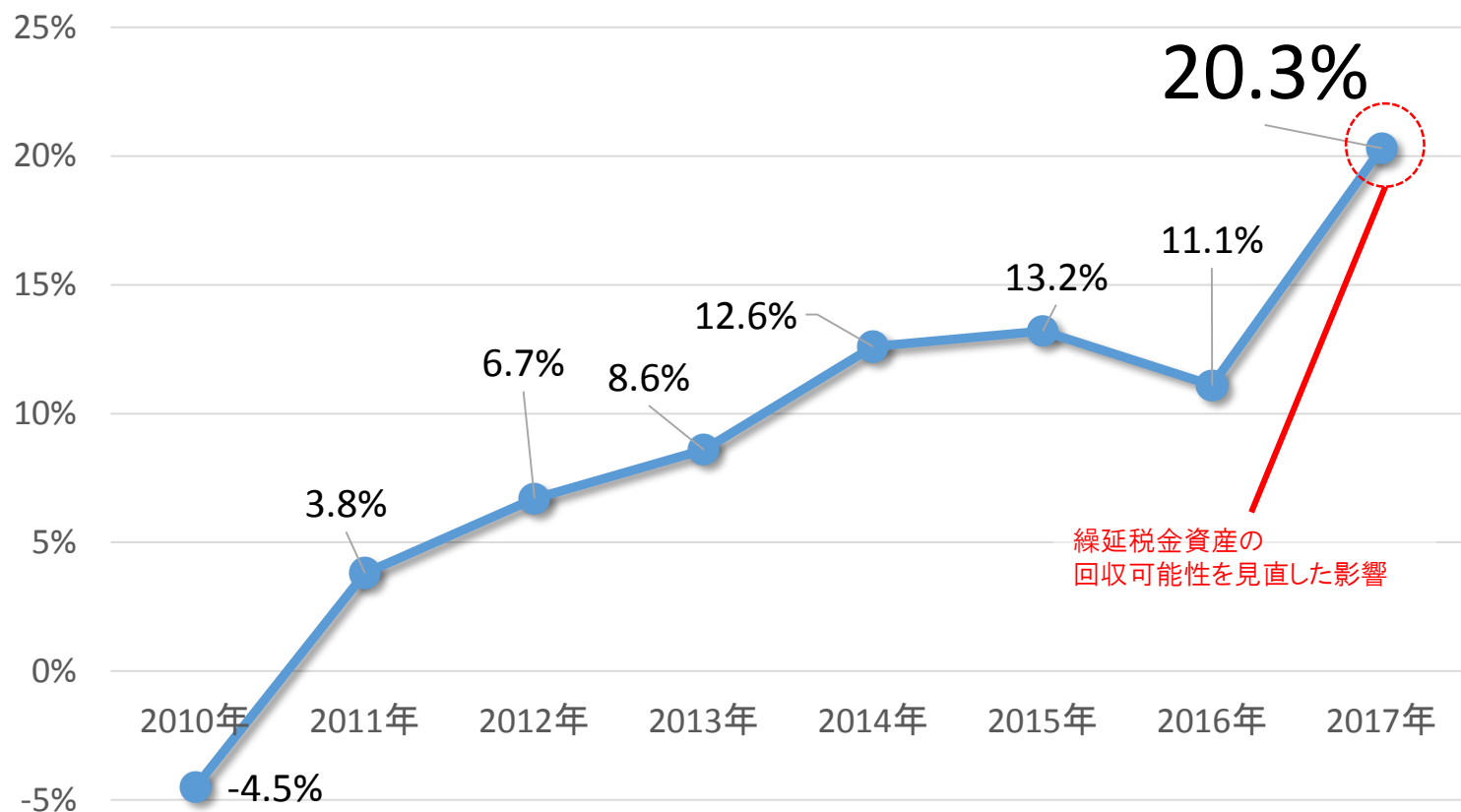
配当について

- 業績連動による配当を継続的に実施すると同時に企業価値の最大化を目指す




(ご参考)ROEの推移

- 収益性を高めることにより、ROEのさらなる向上を目指す



(ご参考) 専門用語集

用語	意味
AM-CAM	AM=「Additive Manufacturing(積層造形法)」、いわゆる3Dプリンタなどの「付加加工」を実現するためのCAMシステム。製品の加工法は、「付加加工」に加え、マシニングセンタなどの「除去加工」、金型などによる「成型加工」に大別される。
API	API=「Application Programming Interface」。すでにある機能呼び出すための関数。従来のソフトウェア開発ではプログラムを一からコーディングしていたが、APIを利用してプログラムをすることによって容易にカスタマイズ等ができるようになる。
NCデータ	NC=「Numerical Control」。マシニングセンタなど工作機械を動作させるための数値制御データのこと。
CAD/CAMシステム	CADとは、どんな製品を作るか、コンピュータ上で設計を支援するためのツール。また「金型用CAD」とは、製品設計データを元に、強度計算や冷却水の経路、高い精度と高度な品質が要求される金型の設計を支援するツール。 CAMとは、CADで作成されたデータを加工用の「NC[Numerical Control]データ」という数値データに変換し、工作機械に渡すためのツール。カッターパスの正確さ、効率性は、CAMソフトウェアの性能により、大きく異なる。 CAD/CAMとは上記の2種類の機能を持ち合わせたソフトウェアのこと。
研削盤	高速に回転する研削砥石を用いて、その砥石を構成する極めて硬い微細な砥粒によって加工物をわずかずつ削り取ってゆく精密仕上げ加工を行う工作機械。
サーフェイス/ ソリッド	サーフェイスとは、3次元コンピュータグラフィックスの立体表現手法のひとつ。ワイヤーフレームに面データが加わったもの。中身が詰まっていない、風船、張り子のようなイメージ。 対してソリッドは、サーフェイスモデルに物質の表裏や材質、重さなどの実体情報が加わったもの。粘土細工のイメージ。
ストック売上	保守契約によるCAD/CAMシステムの利用支援、機能改良版提供の対価として、恒常的な売上が月次または年次で計上される。
○軸	2軸半加工:2軸加工(平面的な輪郭加工や領域加工、穴あけ加工等)に、側面から見た形状の情報を付加する加工方法。 3軸加工:XYZ軸の3軸で同時に行う加工する方法。自由曲面を含む加工が可能となる。 5軸加工:XYZ軸に、回転軸を2つ加えて行う加工。3軸加工と比較し、連続した曲面のアンダーカット(そのままでは型が抜けない形状)を加工する場合や側面などの加工をする場合に有効。

A vertical decorative element on the left side of the page, consisting of a grid of small squares. Some squares are colored in blue, green, orange, or dark blue, while others are white. The pattern is irregular and spans the entire height of the page.

本誌記載のデータは各種の情報源から入手したものです、
その正確性を保証するものではありません。
また業績予想、見通し等は、作成時点において
入手可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(お問合せ先)

株式会社C&Gシステムズ 管理部 IR担当

E-mail : cgs_ir@cgsys.co.jp